

DATE 2020.03.17

PROJECT IKKAKU

／
海ごみ削減を実現する
経済システム構築





Leave a Nest



PROJECT IKKAKU

「これ以上、海にごみを出さない」経済システムを構築する
超異分野インキュベーションプロジェクト

Team
01 / CCSD : Coastal Cleanup
Satellite and Drone

Team
02 / Team SBC

Team
03 / Material circulator

STORY

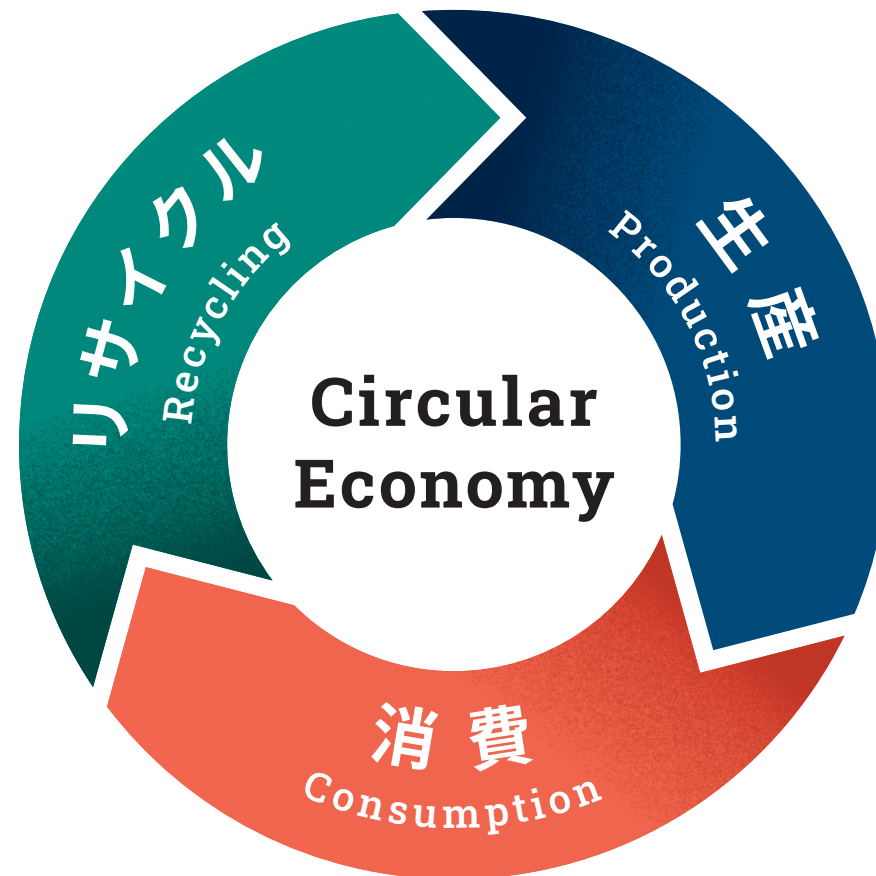
Linear Economy



Issue

世界が直面している社会課題の多くは、これまでの
経済システムによって生じました。

Linear Economy



Change

だから、社会課題に対して個別の解決と共に「問題を生まない」
経済システムをベースにしたアプローチが必要となります。



Holistic

プロジェクト・イッカクは海ごみ削減「施策」ではなく、「ビジネスシステムの実装」を目指します。海ごみ問題を経済システムの問題としてホーリスティックに取り組むプロジェクトです。

Potential

海ごみ問題を経済システムとしてとらえると、
ビジネスの種は無数にあり、あらゆる産業が
関わると言っても過言ではありません。





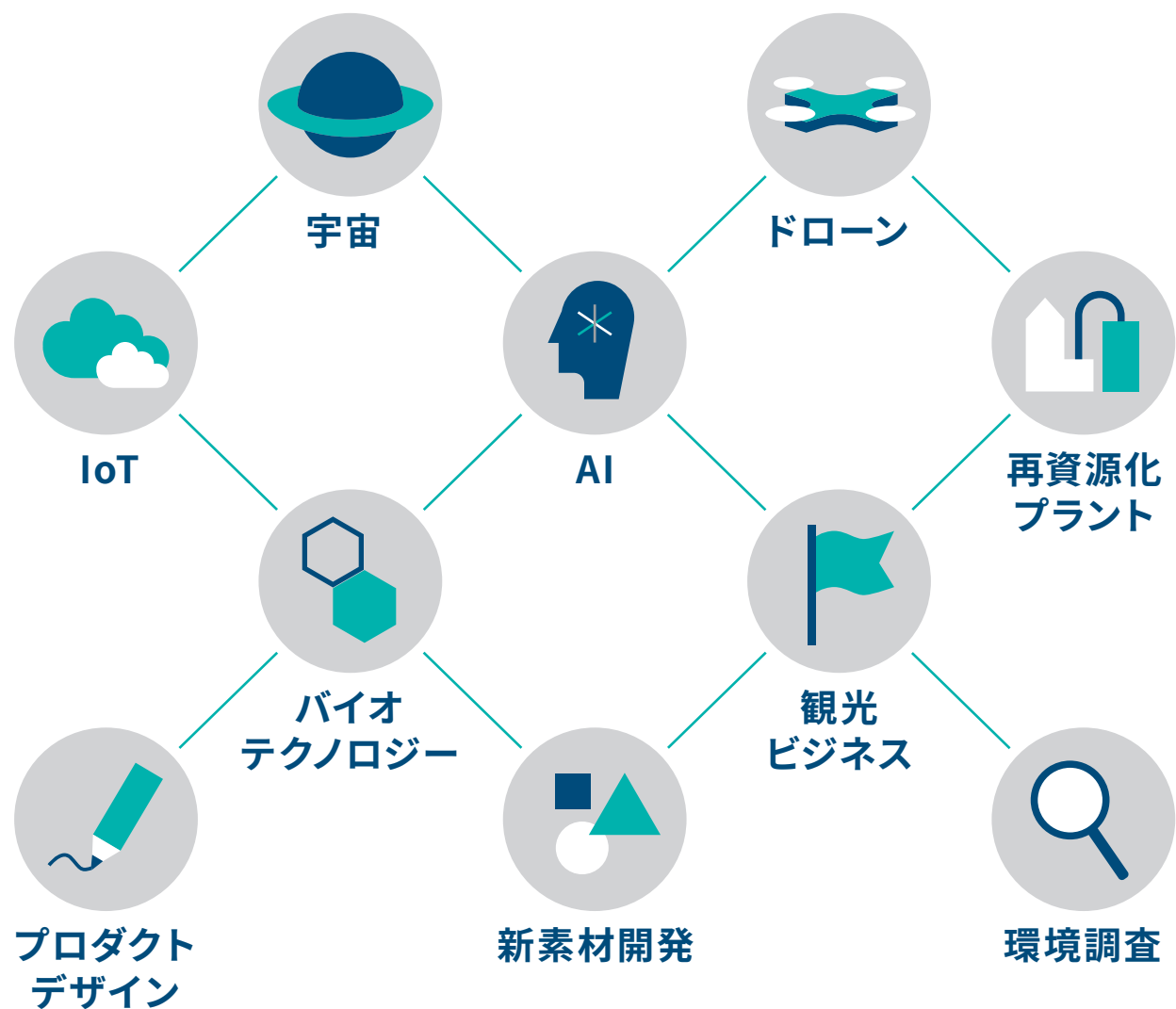
Start

学術機関・町工場・
中小企業・
スタートアップなど

Entry >>>

62

2019年7月にエントリー募集を開始し、書類選考後のキックオフイベントに62のエントリーが集結。ワークショップの結果、8つのチームが誕生。チームごとに海ごみの削減とビジネスが両立できるプランのブラッシュアップを行い、最終的に3つのチームが事業に採択されました。



Approach

新しい経済システムの実現には、さまざまな視点や技術をもつ異分野のかけあわせが必要になります。

そのため、プロジェクト・イッカクはさまざまな分野の専門家たちが集結し、共創的なアプローチで海ごみ削減のビジネスを生み出すプロジェクトです。

01

超異分野による
脱中心的な経済システムを
構築すること

02

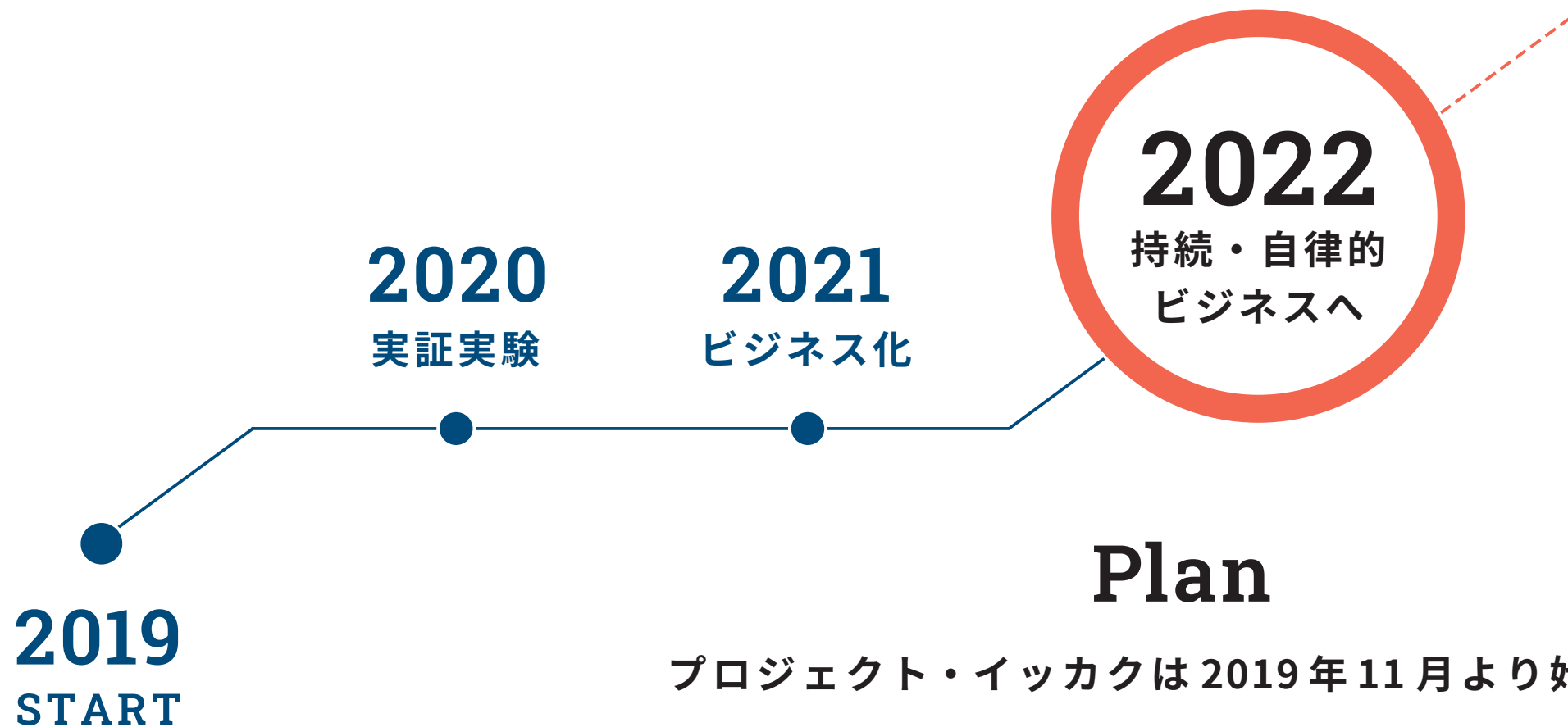
人々の生活全体を
サーキュラーベースで
再構築すること

03

これらの循環運動を
日本だけでなく世界へと
広げていくこと

IKKAKU Vision

プロジェクト・イッカクは、オールジャパンの超異分野チームであること
だけではありません。世界を対象に、特に海ごみ問題が深刻な地域での課題
解決に取り組み、人々の新しい生活のあり方をつくることを目指します。



プロジェクト・イッカクは2019年11月より始まり、
2020年には実証実験に入ります。

そして、2021年からビジネス化を実現し、2022年以降は
持続的かつ自律的なビジネスとなることを目指します。

TEAM

Team
01

／ CCSD : Coastal Cleanup
Satellite and Drone

衛星・ドローンによる ごみ漂着状況診断システムの構築



宇宙



ドローン



IoT



AI

Team
01

CCSD : Coastal Cleanup Satellite and Drone

衛星・ドローンによるごみ漂着状況診断システムの構築

衛星、ドローン及び定点観測装置等を用いて
沿岸部のごみ漂着状況を長期・網羅的に観測
します。また、詳細分析が可能な海ごみ診断
システムの開発により効率的なごみ回収・漂着
予測を実現します。

株式会社天の技
工藤 裕 リーダー

長崎大学
山本 郁夫 サブリーダー

株式会社自律制御
システム研究所
井上 翔介

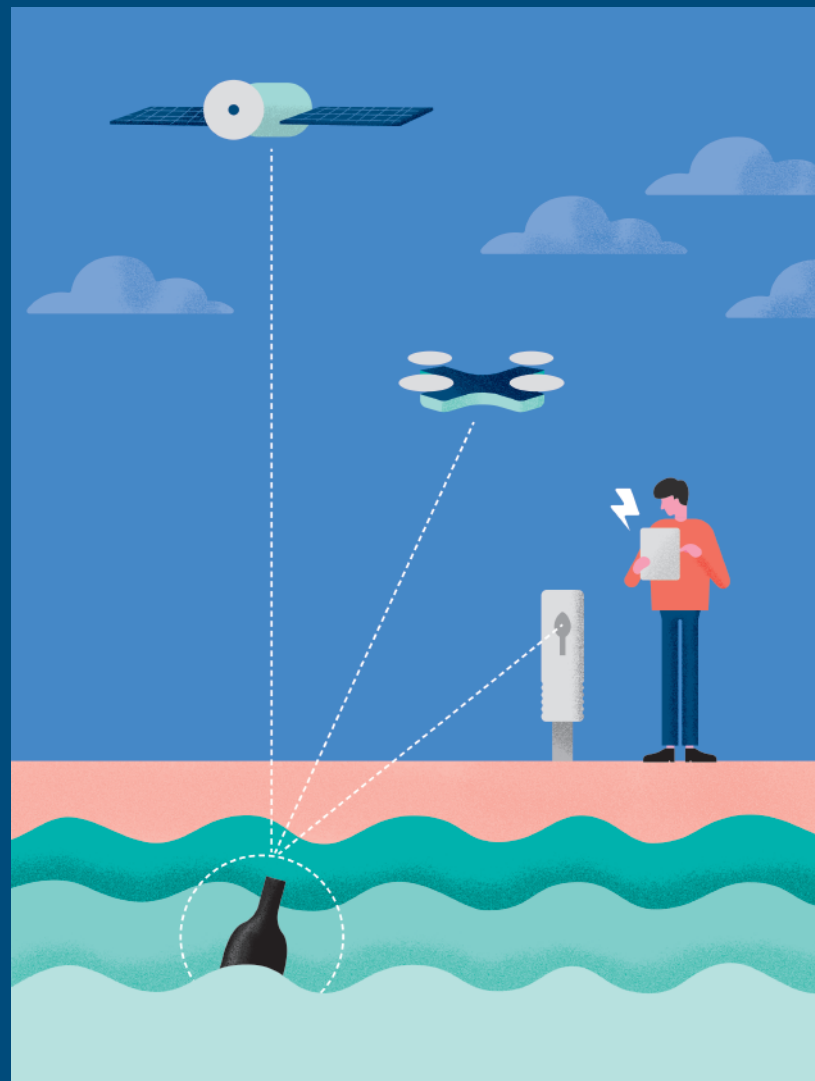
株式会社ドローン
クリエイト
松本 亨

株式会社Ridge-i
横山 慶一

ノウ株式会社
深津 康幸

琉球大学
姜 東植

Drone Fund
千葉 功太郎



Team
02 / Team SBC

自律分散ごみ処理システムの開発



Team
02

Team SBC

自律分散ゴミ処理システムの開発

分別不要で自律分散型のゴミ処理装置を開発します。亜臨界水処理、炭化处理、生物学的処理を組み合わせることでペレット型燃料やメタンガス発酵でバイオガスへの変換を目指します。

サステナブルエネルギー

開発株式会社

光山 昌浩 リーダー

株式会社ノベルジェン

小倉 淳 サブリーダー

株式会社リテックフロー

瀬名波 出

有限会社紋珠

島田 勇巳

株式会社ヒューマノーム研究所

瀬々 潤



Team
03

Material circulator

海洋プラごみをリサイクル原料とした 「人の心に残る」製品の開発



観光
ビジネス



環境調査



新素材開発



プロダクト
デザイン

Team
03

Material circulator

海洋プラごみをリサイクル原料とした「人の心に残る」製品の開発

／

沖縄をはじめとする海ごみ問題に悩む人々や観光客を海ごみ拾い活動に巻き込み、回収したごみをリサイクル可能な資源に変換します。その資源を活用し、心に残るストーリー性のある製品を消費者に届けます。

ジーエルイー合同会社
金城 由希乃 リーダー

マナブデザイン株式会社
高橋 学

株式会社TBM
杉山 琢哉 サブリーダー

ツインバード工業株式会社
浅沼 栞

株式会社ピリカ
小嶋 不二夫

東京理科大学
生野 孝



Information

「これ以上、海にごみを出さない」ために。

コラボレーション、技術協力、事業連携にご関心のある方はコンタクトください。

✉ ikkaku@lne.st

Webサイトは
こちら





PROJECT
IKKAKU